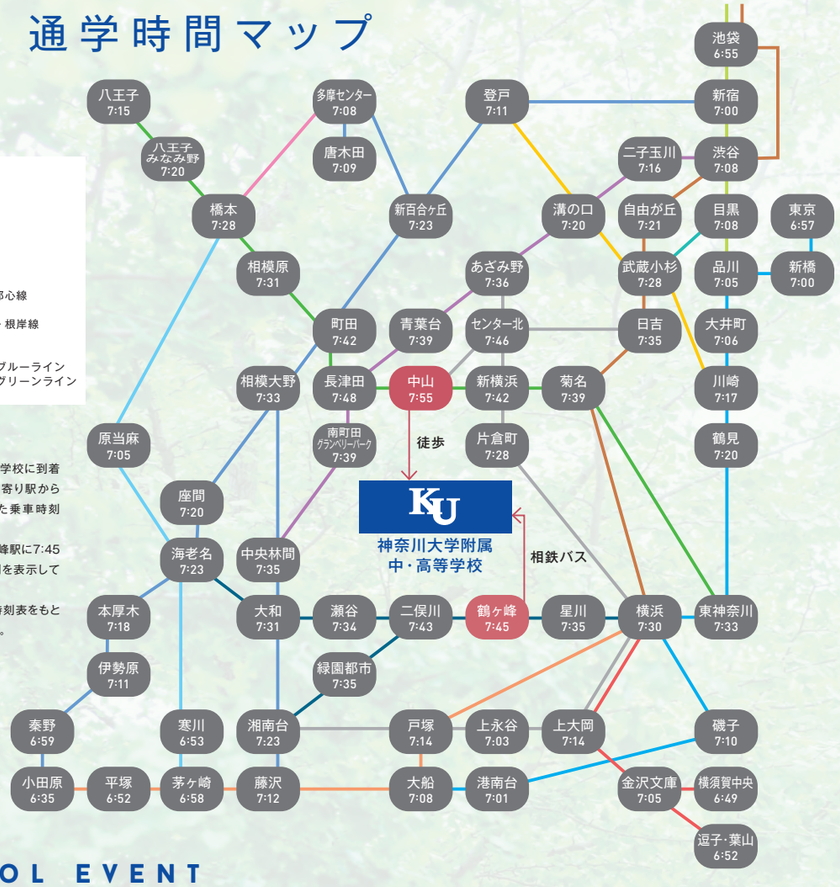
何時に出発すれば始業5分前に学校に着くの？

通学時間マップ



※始業は8：20です。
※生徒が8：15までに学校に到着するものとして、最寄り駅からの乗換時間を含めた乗車時刻を表示しています。
※中山駅に7:55、鶴ヶ峰駅に7:45までに到着する時刻を表示しています。
※2023年3月現在時刻表をもとにした目安時間です。

SCHOOL EVENT

※一部変更となる場合がありますので、詳しくは本校HPをご確認ください。

学校説明会 要予約 ※本校HPから予約してください。

本校の教育方針と教育内容の説明を行います。

5/13(土) 5/20(土) 5/27(土)
10/21(土) 11/18(土) 1/13(土) 1/20(土)

13：30～15：00（受付13：00～）

入試説明会 要予約 ※本校HPから予約してください。

2023年度入試結果及び2024年度入試について説明を行います。

10/7(土)① 10/21(土)*② 11/1(水)*① 11/8(水)①

①14：30～16：00（受付14：00～） ②10：00～11：30（受付9：30～）
*がついている日程は、帰国生説明会も同時開催致します。

学校見学会 要予約 ※本校HPから予約してください。

7/22(土)①② 7/29(土)①② 12/23(土)①②

①13：00～14：00（受付12：30～）
②15：00～16：00（受付14：30～）

第39回くすのき祭

学校祭

9/16(土) 9/17(日)

学校説明会・入試説明会等の日程、参加申込はコチラから！

神奈川大学附属中・高等学校
KANAGAWA UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

〒226-0014 神奈川県横浜市緑区台村町800 Tel.045-934-6211 Fax.045-934-6509

神奈川大学附属中・高等学校

KANAGAWA UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

GROW UP.

学びつづける生徒へ

SCHOOL GUIDE 2024

GROW UP.

学びつづける生徒へ

MISSION

神奈川大学創立者・米田吉盛先生の教育理念「教育は人をつくるにあり」のもと、
建学の精神である「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」を体現する人材を育成します。
人間形成のなかでもっとも大切ともいえる中学・高校の６年間において、
本校は学び続ける生徒を育む学校として、教科学習はもとより、
先進的な教育あるいは体験を重視したプログラムなど幅広い学びの機会を用意します。
それらをもって、知力と人間力を養い、グローバルな視座から社会で活躍し、
社会に貢献できる人間に成長していく。その人間性の土台を、本校はつくります。
また、本校は「のびのびのとした校風」を堅持し、
生徒の希望を確かに実現する「高い進学実績」とともに、
信頼感のある「地域で一番の中高一貫共学校」を目指します。

MESSAGE

知力と人間力を高め、
社会で活躍できる人間に成長しよう。

校長 中野 宏一

高度情報化社会の到来に伴い、社会の変化のスピードが増しています。変化の速い社会で求められる能力とは何でしょうか。変化が速いからこそ、変化しない真実、変化の底にある真理を、中学・高校時代にしっかりと学んでおくこと、いわゆる基礎、土台がますます重要になります。そのうえで、自分が好きな分野を専攻して徹底的に学べばよいのです。

もう一つ大事なことは、人間力です。どんな時代にも、人間は社会で生きる存在です。今の自分だけを中心に考えるのではなく、他者への思いやりや優しさが求められます。それは地球環境の「持続可能性」にもつながり、今求められている力です。これらの力を着実に養って、社会で活躍し、社会貢献できる人間に成長しましょう。

GROW-UP METHOD 01

GLOBAL教育

本校が目指すグローバル教育は、英語力を高めることにとどまらず、「世界を見る目」を養うこと、「世界の中で生きる力」を育むことを目標としています。そのためのプログラムとして、３タイプの海外研修やBreakthrough English Campなどを実施しています。

海外協定大学推薦制度（UPAA）

学校での学習の延長線上に海外大学進学を目指すことができる制度です。イギリス、アメリカ、オーストラリアの協定校36大学に６大学まで出願でき、国内大学との併願も可能です。

協定大学

GROW-UP METHOD 02

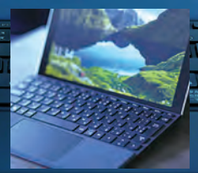
ICT教育

30年前から取り組んできたコンピュータ教育の独自の取り組みと、創造性と個性を伸ばす先進的なICT教育を展開しています。全教室電子黒板とWi-Fiを完備し、１人１台タブレットPC必携とし、生徒たちは毎日の授業と家庭学習で活用しています。コロナ禍でオンライン授業になった時も、朝のホームルームからグループワークまでICTを活用した主体的な学びを当然のこととして展開していました。

オンラインコミュニケーション

コンピュータ教室を利用して、オンライン英会話を実施しています。最初は躊躇する場面もありますが、だんだんと打ち解けて、自己表現が豊かになります。

1人1台のタブレットPC



協働学習やアクティブラーニングによる主体性や協働性の育成とともに、学習管理システムの導入によって生徒の自己管理能力やメタ認知を高めます。

GROW-UP METHOD 03

STEAM教育

神奈川大学との高大連携プログラムを充実させ、理数教科やリベラルアーツを統合的に学習するSTEAM（Science：科学、Technology：技術、Engineering：工学、Arts：芸術、Mathematics:数学）教育に重点をおいています。中学からDNA組換え実験や宇宙エレベーターロボット製作、プログラミングを実施しています。

実験による知的好奇心の醸成

毎年、各学年混合の実験班で行うDNA講習が開講されます。遺伝子組換え実験を通じて、学年の枠にとらわれない自由な意見交換から互いの考えを補完させ、様々な視点からの問題解決能力の向上を図ります。

幅広い教養と豊かな感性

ロボットを使ったプログラミング教育、「宇宙エレベーター」を題材としたプロジェクト学習など、教養としてのArtsやTechnologyも大切にしながら、創造性豊かな活動を行っています。

PROCESS OF GROWING

神奈川大学附属中高の成長プロセス

人間形成の中でもっとも大切ともいえる中高の６年間。神大附属は「学び続ける生徒」を育む学校として、校外学習や海外研修など幅広い学びの機会を用意しています。知力と人間力を養い、グローバルな視点をもって社会で活躍し、社会に貢献できる人間に成長していく。その人間性の土台を、神大附属はつくります。

宇宙エレベーター

宇宙エレベーターとは、地上と約36,000km上空にある静止衛星とをつないだ１本のケーブルを伝って、宇宙まで人や物を運ぶ夢の乗り物です。そんな宇宙エレベーターの実現に向けて、神奈川大学工学部と高大連携事業を立ち上げ、講義やワークショップを重ねながら研究を進めています。

全国中学高校WEBコンテスト

中高生が世界中の人々に役に立つ学習教材を作成し、作品の優劣を競うコンテストです。テーマ選択から制作スケジュール、調査、分析、まとめ、プレゼンテーションまですべて生徒たちで行い、議論や発表の機会を日々の授業に積極的に導入し、「思考力・判断力・表現力」を育む場としています。

東大生セミナー

高校生の希望者を対象とした、東京大学への「志を高く持つ」ことを目的としたセミナーです。東京大学在学中の先輩から「東大ではこんなことができる、こんな人たちと関わることができる」といったことを、教員とは別の角度から伝えてもらっています。

海外研修「国際交流・文化体験型プログラム」

イギリスのコッツウォルズ地方でのホームステイや、現地の学校施設を利用した語学・体験プログラムなどを通じて、交流や文化体験をするプログラムです。

海外研修「語学型プログラム」

フィリピンのセブ島で「英語漬け」になり、英語コミュニケーション力を集中的に高めることを目的としたプログラムです。

海外研修「問題解決型プログラム」

社会的な課題を、現地での実習や起業家を含めた様々な人々との交流を通して、解決の方法を考え、実際に行動するプログラムです。ベトナムで実施します。

学校行事

9月にくすのき祭（学校祭）、10月に体育大会、2月に合唱コンクール（中学生のみ）が行われます。実行委員会の生徒を中心に、企画・準備・運営を行い、仲間と共に学校行事を創り上げていきます。そこで得た達成感は、生涯忘れることのない宝物でもあり、財産になります。

少人数習熟度別授業（英語・数学）

中学1・2年生では「少人数」で手厚く丁寧にサポートし、中学3年生・高校1年生では「少人数」による全体の底上げとともに、「習熟度別」に展開することで上位層の伸長も図ります。

国内校外学習

世界遺産が点在する奈良・京都や多様な歴史・自然・文化を持つ沖縄で調査・研究します。

地域調査

フィールドワークを通じて、身近な地域の課題を調査。社会的な問題意識の形成を図ります。事前事後における学びの過程も大切にしています。

BEC（Breakthrough English Camp）

ネイティブ講師と過ごす英語漬けの3日間。英語を楽しみ、英語でチャレンジすることが目的です。自らの殻を破り、自主的・主体的に学ぶ姿勢を養います。

ALT(Assistant Language Teacher)

多様な出身国の英語ネイティブの教師が4人いて、中1から高1まで4年間1クラスを2分割して、少人数による言語活動中心の授業を展開します。高2・高3では、「論理・表現」の授業にALTが入り、生徒がそれまでに得たボキャブラリーを生かしてwriting能力を高めます。さらに、自由英作文の課題に対してはALTがその表現方法をチェックします。また、大学受験の英作文の添削も行います。

PICK UP 01

放課後自習室学習支援プログラム

学校完結型・自律型の学習環境。自習とともに本校卒業生の学習コーチのサポートも

中学生は「部活動の後に、復習・宿題などの学習を学校で完結させる」、高校生は「部活動等と両立しながら、自らの進路に向けて、学校でとことん取り組む」ための、学校完結型・自律型の学習環境です。放課後は４号館をまるごと自習室とし、中学１年生～高校３年生まで利用できます。自習とともに、本校卒業生の学習コーチのサポートも受けることができます。

PICK UP 02

少人数習熟度別授業（英語･数学）

「少人数」による一人ひとりへのきめ細かいサポート「習熟度」による個々を伸ばす授業環境

中学１・２年生では１つのクラスを２分割した少人数授業により、生徒一人ひとりの理解度やつまずきを把握し、きめ細かくサポートします。中学３年生・高校１年生では２クラスを３分割する「少人数」とともに、１つを上位クラス、２つを標準クラスとする「習熟度別」の授業を展開します。これにより、きめ細かいサポートとともに上位層の伸長も図ります。

PICK UP 03

コース制（高校2・3年生）

同じ目標をもつ仲間が刺激し合い、学び合いながら、集団としても個人としても力を伸ばす

高校２年生以上では、Ⅰ型・Ⅱ型のコース制を導入。Ⅰ型は東大、東工大、一橋大、旧帝大を目指すコース、Ⅱ型は難関国公立大、難関私大を目指すコースです。同じ目標をもつ仲間同士が刺激し合い、学び合い、励まし合いながら、集団としても個人としても力を高めていきます。

SCHOOL COURSE INSTRUCTION
教科指導

ENGLISH
英語科

多様なアプローチで英語力を高め、
世界への挑戦を目指す。

ALTによる少人数の英会話、e-ラーニングなど、本校ならではの授業を展開し、英語運用能力を高めます。中学1･2年生では音読を中心に、表現活動に欠かせない単語や文法などの基礎力を育成。それぞれの強みと弱みが明確になる中学3年生から高校1年生にかけては、習熟度別の授業を実施し、上位学年でのハイレベルな学習に備えます。そして進路選択を目前に控える高校2･3年生では、大学入試に対応すべく、長文読解力を磨き、ALTと一緒に表現力を鍛えていきます。ただ英語を勉強するだけでなく、英語を用いて自分自身を表現できる生徒像を目標としています。

GROWING POINT

生徒・教員間のインタラクションと、生徒の頭をアクティブにする「問いかけ」を大切にしながら授業展開をしています。知識やツールにとどまらない英語を伝えていきたいです。

福家 匠人 先生

GROWING POINT

「あ、わかった！！」晴れ晴れとした表情のちょっぴり誇らしげな生徒の笑顔が大好きです。毎日がこの「気づき」の積み重ね。知的好奇心を少しだけ刺激して、ときにひとりで、ときに仲間とともに「考えることの楽しさ」、「問題解決の喜び」を感じられる心を育みます。数学の学びから、挑戦し続ける強い意志と、しなやかな発想力に磨きをかけます。

馬場 有希子 先生

MATHEMATICS
数学科

「知の財産」数学を体系的に学び、
論理的に考える力を育成する。

数学科では論理的思考力の育成を目標として、中高6年間の内容を体系的に学びます。授業では基礎に重点を置き、ハイレベルな問題に取り組む際は、これまでの学びを活用するという観点から解説。難しいと感じることもありますが、つまずいても心配いりません。私たち教師も生徒と一緒に、そのつまずきに向き合い、問題の解決に当たります。一人ひとりの個性を伸ばす指導によって、粘り強く問題に取り組み、解答を導き出せる姿勢を身に付けましょう。数学は言語の壁を超え、数千年もの年月をかけて築き上げられた知の財産です。それらを学び、活用することで、自分の世界を広げていってください。

JAPANESE
国語科

生活の基盤となる「ことば」。
読む・聞く・書く・話す技術を学ぶ。

読む・聞く・書く・話すという四領域の活動で成り立っている「ことば」。国語科では、これらの活動に必要な技術を学んでいきます。技術を身に付けるには、自分で活動することが大切です。授業での成功体験、失敗の経験を次に活かし、さらに、学んだ技術を探究学習に広げることを目指します。課題設定や情報収集の基本を学習することで、思考力・判断力・表現力が向上。社会に踏み出すための基礎となる「ことば」の技術・力・知識を習得できるようサポートします。

GROWING POINT

中学校の間は、読書活動でのインプットと様々な言語活動でのアウトプットを多く取り入れています。根拠をもって自分の意見を相手にわかりやすく説明する力がつくよう授業しています。

松本 卓実 先生

SOCIAL STUDIES
社会科

学ぶ中で芽生える疑問と向き合い、
現代社会に通用する能力を育む。

中高の6年間を通して、人類社会が蓄積した人文学・社会科学について体系的に学びます。なぜなら、知識や教養を基盤としない思考力や判断力、表現力では、未知の課題に対する解決策を導き出すことができないからです。そのためには、文献資料、統計資料、絵画・図版などを読み解く過程も重要だと考えます。そこで芽生える「なぜ」「どうして」という疑問に、粘り強く向き合い、追究する。その経験が知識基盤社会において求められる能力を育むのです。

GROWING POINT

私たちの目の前にある「世界」はほんの一部にすぎません。すべてのことには背景があり現在や未来があります。人と人、人とモノ、様々な「つながり」を追究していく思考力の育成を目指しています。

中井　彩乃 先生

GROWING POINT

鑑賞など芸術を受動的に楽しむことだけでなく、発信する側として能動的なスキルを身につけることに重きをおいて授業を展開しています。

相澤　拓生 先生

ART
芸術科

豊かな感受性と創造力、
個性あふれる表現力を育てる。

本校の芸術教育が目指すのは、表現及び鑑賞を通して、創造力を伸ばすとともに、豊かな感受性を育むこと。生涯にわたって、芸術の魅力を感じ取れる感性や、個性あふれる表現力の獲得に力を注いでいます。中学生は、音楽と美術の授業で、創造的な技術と知識を学習。高校生になると、音楽、美術、工芸より一科目を選択し、充実した設備のもと、より専門的で創造的な能力を高めます。

SCIENCE
理科

アクティブラーニングを取り入れた
主体的な学びで、科学的な概念を獲得。

科学的な概念を獲得できる、探究的な学びを提供しています。授業は生徒と一緒につくるものという考えのもと、生徒たちが実験方法などを議論し、考察する機会を設けます。答えのない課題に対して、科学的な知識を駆使し、行動することで、問題解決能力を向上させたいというのが狙いです。また、一方通行の講義形式ではなく、問題から議論、実験へと発展させる、アクティブラーニングを採用。授業では毎回、パソコンを効果的に使用して、科学的な分析力を磨いています。

GROWING POINT

身近な現象に対する疑問に、どのようにアプローチをしていくのか、この基礎を養うことを目標にしています。一方的な講義だけでなく、生徒たちと対話しながら授業を進めていくこともあります。

石井　亜希穂 先生

HEALTH AND PHYSICAL EDUCATION
保健体育科

目指すのは「生涯体育」。
男女の垣根を越えた共修授業。

保健体育科が目指すのは、卒業後も継続できる「生涯体育」です。サッカーの授業以外はすべて男女共修で、試合も行っています。性別による体力や体格の差、それによって生じる有利・不利は、自分たちで話し合い、オリジナルのルールを設定することで解消。男子も女子も同等に競えるよう、細かな作戦を練って、試合に臨みます。そういった経験で養われるのは、相手を認め、尊重する姿勢です。多様性を享受し、お互いへの配慮ができるように導きます。

GROWING POINT

どの種目においても、まずは基本技能の習得を目指します。またスポーツを「する」だけではなく、審判等も行いながら「支える」ことも生徒が自ら学んでいきます。生涯にわたってスポーツに親しむことの基礎づくりを目指しています。

菅原　剛 先生

GROWING POINT

実生活に結びつく授業を展開。衣食住をはじめ、生活に役立つ知識や技能を身につけます。苦手意識を持つ生徒の多い被服実習では、達成感を自信に変える指導を心がけています。

和田　瑞希 先生

TECHNOLOGY AND HOME ECONOMICS
技術・家庭科

最新のICT環境で多彩な学びを実現。
逞しく生きる人間力を培う。

技術室や調理室、被服室など一般的な技術家庭科を学ぶ施設に加え、iMac50台でグループワークができるMacルーム、Windows PCを50台備えたWinルームも完備。衣食住を中心とした知識と技能の習得、ICTの活用やモノづくりを通して、生活における課題を見出し、解決する力を養います。また、動画編集や音楽ソフトを使った楽曲制作、センサーロボットを使ったプログラミング、宇宙エレベーターやWeb制作など、多彩な学びにより、考察力や実践力を習得。逞しく生きる人間力を育みます。

Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study

探究の時間

「主体的に考え、判断し、行動する」生徒を育成する。

中学3年生と高校1年生の合同で行う「探究の時間」。生徒は20以上あるゼミの中から自分の興味のあるゼミに所属し、チームまたは個人で年間を通じて探究活動に取り組みます。リサーチクエスチョン（課題設定）を立て、先行研究の整理、データ収集、分析・考察をし、論文を執筆します。生徒はICTを活用しながら、データ収集やアンケート調査、関係者へのヒアリングなどを行います。ヒアリングの対象は海外に及ぶこともありますが、それもすべて生徒が自分たちでアポイントを取ります。
「探究の時間」は生徒の主体性と協働性を育むとともに、「何を学び、なぜ学ぶのか」、自らの進路を考えるきっかけとなっています。

GROWING POINT

情報収集力や批判的思考力、課題設定などを概した「探究力」の向上に力を入れています。探究活動の時間を増やし、多くの教科と連携を取ることで、広い視野を養ってほしいと考えています。

副校長 柴田　大介 先生

FUTURE GUIDANCE COUNSELING

進路指導

本校は進学校ですが、大学進学のみを目的とせず、生徒の「生き方探し」をサポートする進路指導を行っています。大学受験はゴールではなく、人生における一つのハードル。目指すゴールは、「学び続け、自分の人生をよりよきものにしていくこと」です。生徒の希望する進路実現に向けたカリキュラムや授業展開の根底には、そのような本校の進路指導の理念があります。

高2・高3

進路に合わせた選択カリキュラムを設定し、単に受験だけではなく社会人になっても「学び続ける」態度を育成します。多様な講習とともに、主体的な学びを行う生徒に対して放課後自習室と連動した学習コーチによる個別指導を行っています。高２・高３に限りませんが、スタディサプリやCollege PathwayというICTツールを全員に提供して、自学自習できる体制もとっています。さらに、生徒の高い志を育むための個別対応を行い、心が揺れる受験期の生徒を支えます。

中3・高1

基礎学力をもとに生徒の主体的な活動が多くなります。よりきめ細かい指導の一環として、英語・数学では中３・高１で２クラスを３分割して、全員が大学進学に必要な学力を身に付けられるようにしています。本校卒業生によるキャリアラボで、大学とその先の職業との接続を考えます。また神奈川大学との高大連携プログラムとして、大学の研究施設の見学、神奈川大学教授陣による学部学科説明会など、高等教育の一部に触れています。大学オープンキャンパスにも参加して自分の進路の方向性を見出します。

中1・中2

あいさつ、生活リズムといった基本的生活習慣の確立と土台となる基礎学力を身につけます。上位学年になるにつれて習得状況に差がでやすい英語と数学ではWeeklyTest（週間テスト）を行い学習の遅れを見逃さないようにするとともに、学習の習慣づけを行います。
また、進路指導の一環として職業観の育成に力を入れています。職業についての研究やキャリアラボの実施等で、仕事のやり甲斐や苦労を知り、働くことの大切さを知ります。

PICK UP 01 一人ひとりの能力を伸ばす多彩なプログラム

中１・中３

キャリアラボ

社会で活躍する卒業生に、現在に至るまでの体験を語ってもらっています。進路を考える絶好の機会です。

高１

学部学科説明会

神奈川大学の第一線の研究者から学問分野のレクチャーを受け、「大学で学びたいこと」を考えるきっかけとします。

全学年

放課後自習室学習支援プログラム

自習とともに、本校卒業生でもある大学生・大学院生の学習コーチが一緒になって学習計画を作成するなど、目指す進路実現をサポートします。

中３

神奈川大学見学会

施設や研究室を見学し、キャンパスやアカデミックな雰囲気に触れることで、「大学」への関心を高めます。

高２

一日神大生

神奈川大学で授業や研究を体験します。大学での学びに触れることで、目指す進路に向けたモチベーションを高めます。

高１～高３

高い志を支援する取り組み

東大生セミナーや個別の大学説明会、卒業生による講演会などを通じて、生徒の心に火を灯します。

PICK UP 02 努力と挑戦によって、目指す進路を実現

現役生（197名）の51名が国公立大学に合格

本校Webサイトではさらに詳しいデータを紹介しています▶▶▶

東大 3名・京大 2名	
一橋・東工・旧七帝大 17名合格	国公立（大学校含） 60名合格
医学部・医学科 20名合格	海外大学 8名合格
早慶上理 150名合格	GMARCH 268名合格

※浪人含む

PICK UP 03 海外協定大学推薦（UPAA）で将来の選択肢が広がる

世界大学ランキングにおいて上位にあるイギリス18大学、アメリカ15大学、オーストラリア３大学の計36の協定大学に推薦で進学することができる制度です。高校３年生の１学期までの成績等により、共通の願書を用いて６大学まで出願することができます。この制度によって、学校での学習の延長線上に海外大学進学を目指すことが可能となります。また、国内の大学受験との併用もでき、グローバルな視野での進路の選択肢がより広がるといえるでしょう。

VOICE

多様な価値観、文化が混ざり合うキャンパス

こちらで大学に通う学生は、志や目標であったり、自分の将来のキャリアをよく考えながら日々授業やインターンシップ、ボランティアに取り組んでいます。物事の考え方が日本にいた頃に比べて、遥かにグローバルでレベルが高いなと衝撃を受けたことは今でも覚えています。意識の高い環境に囲まれながら大学生活が送れるという経験は海外大学ならではのものだと感じます。

藤澤 恒太さん（Queen's University Belfast）

PICK UP 04 神奈川大学への推薦制度 KU 神奈川大学

1928年に創立された神奈川大学は、横浜・みなとみらいキャンパス合わせて11学部22学科１プログラム、学生総数約18，000名を有する総合大学です。一人ひとりの成長支援を大切にした教育を実践し、実学志向の伝統のもと、教育サポートを充実させています。本校からは推薦入試で神奈川大学への進学を確保した上で、他大学を受験することもできます。

みなとみらいキャンパス ▶

1くすのき祭／2国内校外学習／3合唱コンクール
4スキー教室／5体育大会

SCHOOL LIFE

個性と主体性を伸ばし、育む生活

広大な自然の中でこそ育まれる
多様性を尊重する人間へ。

本校が持つ自然環境は、豊かな人間性を育む大切な教育資源だと考えています。この環境が、教科学習のみならず、部活動、特別活動、学校行事においても明るく一生懸命に取り組む生徒を育んでいます。都会のビルにはない四季折々の、大きな空、植物の彩り、動物の声、風の音を感じてください。

EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

課外活動

運動部

陸上競技部／軟式野球部（中学）／硬式野球部（高校）／水球部／剣道部／硬式庭球部
バレーボール部／サッカー部／なぎなた部／卓球部／バスケットボール部

運動部委員長
富原　裕貴さん

積極進取をめざして…

広大な敷地や恵まれた設備でのびのびと練習することができます。限られた時間ながらも、各部活ごとに部員全員で考えた目標を掲げて、それに向かって熱心に練習に打ち込んでいます。私が所属する野球部では、部員やコーチ、顧問の先生などと話し合いを通して、チームが良くなるためには自分には何ができるのかということを積極的に考えるようになり、すぐに行動に移すことができるようになりました。

学芸部

囲碁・将棋部／技術家庭科部／歴史研究部
音楽部／演劇部／漫画研究部／理科部／美術部

学芸部委員長
松本　匡祐さん

部員が一体となり、自らの表現を探究する。

それぞれの部活が、表現の技法や自ら設定した課題の探究を行っています。演劇部では、部員やコーチに助言をもらいながら、自分自身の表現の幅を広げる活動を行います。また大会に向けて全員が一丸となり、時にぶつかり合いながら練習をすることは、やり切った時の何物にも代えがたい達成感へとつながります。

生徒会活動

自ら考え、行動できるのが神大附属中高生のプライド。

本校では、部活動や委員会活動、学校行事は生徒会の主体的な活動の一環として位置づけています。それらを通して主体性や協働性が涵養されます。くすのき祭、体育大会、合唱コンクールは、各学級の生徒が衝突しながらも最後には協力して一つのゴールに向かう大切な行事です。部活動は実社会と同じ「縦と横の組織を体験する場」でもあります。いずれも全力でやり抜いた経験が自己肯定感を高め、大学さらには社会での活躍のエネルギーに繋がります。

MESSAGES

在校生／卒業生メッセージ

卒業生 社会人としての「基礎力」を培った中高時代。

鷹木 良介さん

PwCあらた有限責任監査法人 勤務
（2010年卒業 東京工業大学進学）

監査法人で働く現在、数理の専門的な知識に加え、職務に関わるすべての方々とのコミュニケーションが欠かせません。信頼関係を築く礎となるのは、社会人としての素養や基礎力。私の場合は、神大附属の6年間で必要な能力を身につけることができました。先生方や同級生、先輩や後輩との交流によって、協調性が培われ、授業や学校行事、部活動を通じて、協働性や自主性が磨かれました。特に、音楽部での活動は、人生の糧といえるほどの貴重な経験でした。広いキャンパスや充実した設備など、学ぶ環境に恵まれたことはいうまでもありません。もうひとつ付け加えるとすれば、中山駅から学校までの通学路。通い続けることで鍛えられた精神と肉体は、仕事をする上でも役立っています。

卒業生 建学の精神は、私の中に息づいています。

竹内 鮎美さん

SBIホールディングス株式会社 勤務
（2002年卒業 慶應義塾大学進学）

中高一貫の6年間で、のびのびと勉強や部活動に励むことができました。その背景には、支えてくれた先生方の存在があります。授業やイベントで一人ひとりに向き合い、生徒の個性を尊重してくださいました。また、進路を考える機会が充実しているのも神大附属の特長です。学校生活を通して「自分の道は自分で切り拓く」「経済発展に貢献したい」という思いが芽生えました。大学では経済を学び、金融業界で進化を続ける会社に就職。建学の精神である「質実剛健」「積極進取」は進路の選択に影響を与えただけでなく、その後の私の座右の銘にもなりました。中学高校時代は、目の前に無限の選択肢が広がっている時期です。自分の未来を切り拓くための素養を、ぜひ神大附属で身につけてください。

在校生

生徒会会長
吉良 俊祐さん

心身ともに大きくなれる場所がある

東京ドーム3.7個分の広さを誇る広大なキャンパス。そして生徒主体で自由な校風。これらの魅力に惹かれ、私はこの神大附属に入学することを決めました。 中学3年生、高校1年生では探究活動を行います。一人ないしは複数人でグループを組み、自分たちの身近な疑問や世の中の様々な問題についてフィールドワークを行い、資料を参考に最終的には論文を完成させます。これにより、自主性や協調性が培われたと感じます。この力は将来社会に出ても通用する力だと私は思います。神大附属の環境は私たち生徒の行事や活動の幅を広げ、より楽しいものにしてくれます。

在校生

音楽部所属　模擬国連出場
森 環菜さん

自分自身を高め続けることができる環境

自分がやりたいことをのびのびと追究できる学校です。勉強だけではなく学校行事や部活動の中で、学年を超えて協力し、人とのつながりを学びます。私はそういった環境の中で勉強と共に部活やその他の課外活動を行うことで、充実した日々を送ることができていると実感しています。先生方は、進路や将来について精力的に相談に乗ってくださり、一人ひとりを尊重してくれます。雄大な自然と広大なキャンパスのもとで、様々な価値観を持つ仲間と共に高め合うことができる、そういった環境も私の活力です。

卒業生 神大附属での時間や出会いは、私の財産でもあり、宝物です。

稲葉 聡史さん

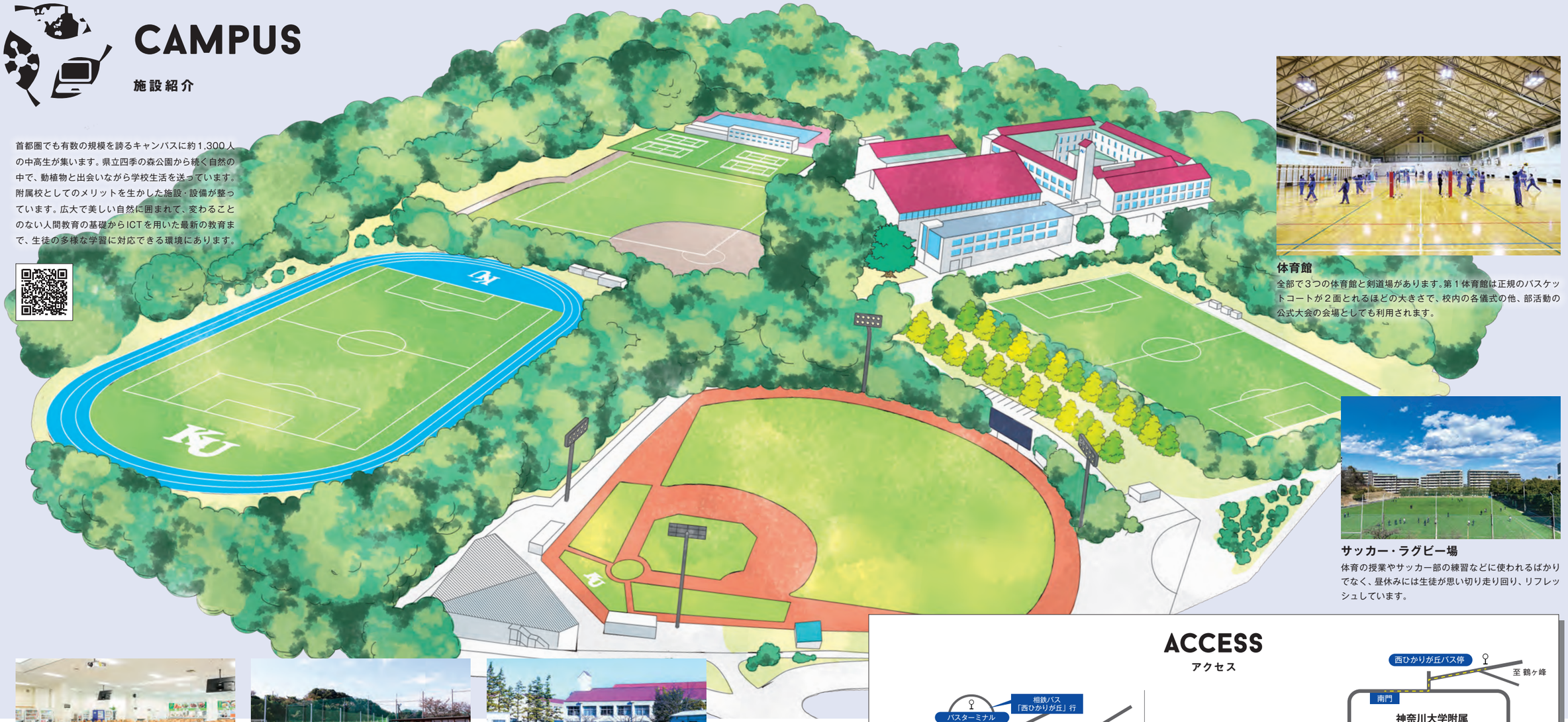
経済産業省 勤務
（2017年卒業 早稲田大学進学）

今までの自分の人生の中で、神大附属で過ごした6年間はとても充実した日々でした。生徒の自主性を尊重する校風と豊かな緑の中でのびのびと学び、大きく成長させていただきました。また、部活動や学校行事などを通じて社会でも通用する礼儀なども学ぶこともできました。社会人になった今でも神大附属での経験が生きていると感じます。
しかし、なんといっても神大附属の最大の魅力は同級生・先生方の人の良さです。神大附属で築いた友人関係は今でも私の宝物です！

CAMPUS

施設紹介

首都圏でも有数の規模を誇るキャンパスに約1,300人の中高生が集います。県立四季の森公園から続く自然の中で、動植物と出会いながら学校生活を送っています。附属校としてのメリットを生かした施設・設備が整っています。広大で美しい自然に囲まれて、変わることのない人間教育の基礎からICTを用いた最新の教育まで、生徒の多様な学習に対応できる環境にあります。



体育館

全部で3つの体育館と剣道場があります。第1体育館は正規のバスケットコートが2面とれるほどの大きさで、校内の各儀式の他、部活動の公式大会の会場としても利用されます。

サッカー・ラグビー場

体育の授業やサッカー部の練習などに使われるばかりでなく、昼休みには生徒が思い切り走り回り、リフレッシュしています。

食堂

多くの生徒はお弁当を持ってきますが、食堂には座席が330席あり、どの学年でも利用できます。日替わりの定食・丼・麺類・カレーの他、お弁当も販売しています。

陸上グラウンド

ブルーの全天候型400m陸上競技トラックの内側に、人工芝の多目的コートがあります。各部活動や日々の体育の授業の他、体育大会などの学校行事でも使用します。

プール

50m×7コースあり、体育の授業の他、特別な濾過装置を利用した災害時対策も兼ね備えています。

Macルーム

iMacを50台完備。情報やオンライン英会話の授業の他、課外活動等で利用します。この他にWindowsのPCルームもあります。

図書室

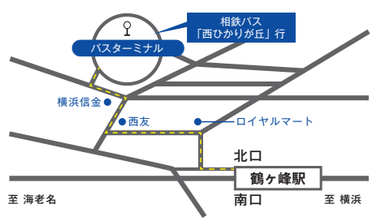
約4万冊の蔵書があり、司書が常駐しています。さらに大学の蔵書150万冊も利用でき、本校にいながら借りたり返したりすることができます。

中庭

校舎の中心にあるテラスで、生徒たちの交流の場となっています。お昼はお弁当を持ち寄ってランチを楽しめます。

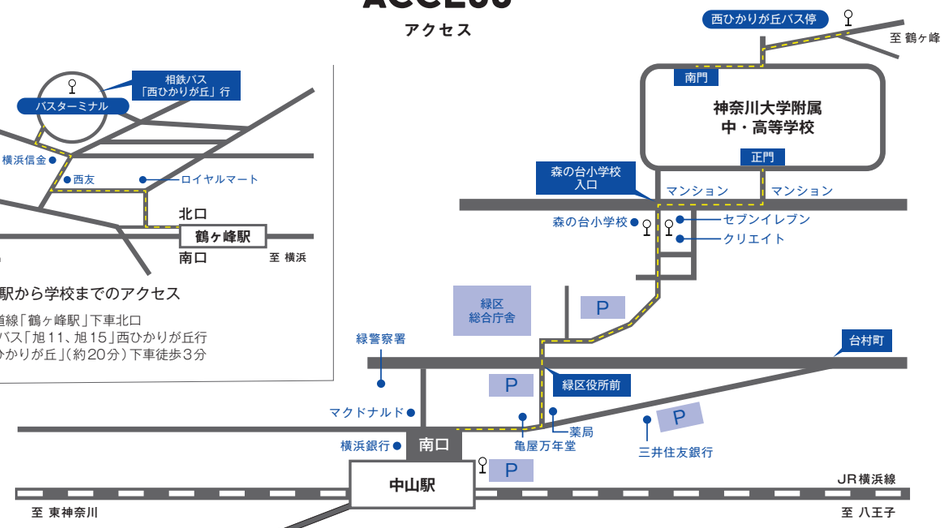
ACCESS

アクセス



鶴ヶ峰駅から学校までのアクセス

相模鉄道線「鶴ヶ峰駅」下車北口
- 相鉄バス「旭11、旭15」西ひかりが丘行「西ひかりが丘」(約20分)下車徒歩3分



中山駅から学校までのアクセス

JR横浜線／横浜市営地下鉄グリーンライン「中山駅」下車南口
- 徒歩15分(約1km)
- 横浜市営バス「240系統」森の台・台村循環中山駅前行「森の台小学校入口」下車徒歩3分
- 相鉄バス「旭15」鶴ヶ峰駅行「森の台小学校入口」下車徒歩3分